

授業科目	*子ども文化				単位	1		
履修	必修	関連資格	保育士		ナンバリング	CH11336J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP3-1 DP5-3			
担当教員	池田 佐輪子							
授業概要	<p>子どもの生活の中で「遊び」のもつ意義は大きい。子どもは、「遊び」を通して心身の発育はもとより、興味・関心、探究心などさまざまな能力を開花させ、生きる力を身につけていくからである。この子どもの「遊び」をより深め豊かにするものとしての子ども文化について学んでいく。授業では実務家教員として保育所での25年間の保育実践に基づき、絵本、紙芝居やペープサート、パネルシアターなどの子ども文化財の製作、活用、そして保育現場での子どもとの具体的な関わり方等について説明する。子どもの感性を豊かにする子ども文化と子ども文化財について理解したうえで実際に制作、発表することで、現場で活用できるいろいろな実践方法を身に付けていく。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.子どもの成長と文化の関わりについて説明できる。  2.さまざまな子どもの文化財についての基本を説明できる。  3.子どもを取り巻く文化に関心を持ち、主体的に制作や課題発表に取り組む。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	10	40	40	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10	30	40	10	90	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)				10			10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
適切な遊びが子どもの望ましい育ちに影響することを理解し、子どもの感性を高め、創造性を豊かに育てることを意識しながら楽しい遊びの計画・実践ができる。				適切な遊びが子どもの望ましい育ちに影響することを理解し、子どもをイメージしながら楽しい遊びの計画・実践ができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション、子どもと遊び、子ども文化について			・シラバスを用いて、オリエンテーションを行う。		・絵本カード ・手遊びカード		30

	・授業の概要と目標、課題および提出物について説明する。	・絵本カードのプリント配布	* 絵本カード、手遊びカードはファイリングして、指定された授業のときに提出する。	
2	テーマ: 伝承遊び ・わらべうた、手遊び、その他伝承遊びについて学ぶ。	・資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード	30
3	テーマ: 保育人形を活用した遊び① 保育人形の意味や保育での活かし方について知り、保育人形を制作する。	・資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード	120
4	テーマ: 保育人形を活用した遊び② ・制作した保育人形を使って、自己紹介をする。	・資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード	30
5	テーマ: 絵本総論 ・絵本をめぐる行為、その定義の捉え方、多様なあり方、可能性と課題について理解し、実践方法を学ぶ。	・資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード ・ポップ作り	30
6	テーマ: 絵本と出会う(はじめての絵本との出会い) ・乳幼児を対象とした絵本の特色と乳幼児が絵本に触れるための具体的取組について学ぶ。(赤ちゃん絵本、ブックスタート)	資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード ・ポップ作り	30
7	テーマ: 絵本と出会う ・書店における絵本の売り場づくり、絵本の流通について理解する。(外部講師)	・資料を用いての講義	・絵本カード ・手遊びカード	30
8	テーマ: 子どもと文学① ・言葉遊びについて理解し、実践方法を学ぶ。	・資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード	30
9	テーマ: 子どもと文学② ・紙芝居、素話、ストーリーテリングについて理解し、実践方法を学ぶ。	・資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード ・パネルシアター、ペープサート、テーブルシアターなどの教材から一つ選んで作品制作に取り掛かる。	30
10	テーマ: おはなし会で活用するこども文化財① ・パネルシアターについて知り、その実践方法を学ぶ。	・資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード	30
11	テーマ: おはなし会で活用する子ども文化財② ・ペープサートについて知り、その実践方法を学ぶ。	・資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード	30
12	テーマ: おはなし会で活用する子ども文化財③ ・テーブルシアター、エプロンシアター、人形劇等について知り、その実践方法を学ぶ。	・資料による説明と実践	・絵本カード ・手遊びカード	30
13	テーマ: 自分の作品を作ろう ・学んだことを生かして、現場で活用できる作品を作る。	・意見交換をしながら作品作り	・絵本カード ・手遊びカード	60
14	テーマ: おはなし会形式で発表① ・発表を通して意見交換を行うことで、自己の課題に気付くとともに、お互いを高め合うことを学ぶ。	・学生による発表と意見交換	・絵本カード ・手遊びカード 予習: 発表の準備を整える。	60
15	テーマ: おはなし会形式で発表②、まとめ ・発表の総括から、学んだ知識や技術を保育実践の場で活かせるようにする。	・学生による発表と意見交換 ・総括 ・提出物: ファイリングした絵本カード、手遊びカード	・絵本カード ・手遊びカード 予習: 課題を整理し、個人発表の準備を整える。 「こども文化ファイル」作り(絵本カード50枚、手遊びカード50枚)	60
16				
17				

18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日常生活で見かける子どもや親子の様子を意識して観察してみましょう。日頃から子どもに興味・関心をもつことが大切です。また本学の「えほんのへや」、図書館や書店などでも絵本や手遊びの本などを見るように心掛けましょう。			
テキスト	認定絵本士養成講座テキスト / 中央法規出版 その他は、必要に応じてプリントを配布。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考書 「日本伝承遊び事典」黎明書房 「ことばと表現力を育む児童文化」萌文書林 コダーイ芸術選書21「新訂わらべうたであそぼう」(全4巻) 明治図書			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	実習や就職後に活用できるように、定期的に絵本カード、手遊びカードをファイリングしたものの提出があります。日頃から図書館や書店等で、良い絵本に触れるよう心掛けましょう。また、今日の子どもを取り巻く情報環境の中で、子どもの育ちにふさわしいものを選び取るにはどうすればよいか、考えながら学びを進めてください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	発表(グループ、個人)、提出物についての内容・評価は、授業の中で適宜説明します。「その他」については、授業への積極的な参加態度や意見発表等で評価していきます。課題については、評価点、改善点等、授業の中でその都度フィードバックしていきます。			

